

2022 年度 自己点検・評価報告書

情報公開評価分科会

2023 年 2 月

基準2 内部質保証

● 教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしているか。

- ・ 教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等の公表
- ・ 公表する情報の正確性、信頼性、適切な更新

【1】2022年度の取組み方針・改善計画（および中期的な改善計画）

<方針・改善計画>

■方針

「学校法人創価大学情報公開規程」を制定し、保有する情報の公開に関して必要な事項を定めている。情報公開の目的を「本法人の活動に関する社会的説明責任を果たし、公正かつ透明性の高い運営を実現し、教育研究の質の向上に資すること」としている。

本規程第3条第1項では、情報公開内容を、(1)学校法人及び学校の基本情報、(2)財務及び経営に関する情報、(3)教育活動に関する情報、(4)研究活動に関する情報、(5)学生生活・課外活動に関する情報、(6)社会貢献・連携活動に関する情報、(7)進路・進路支援に関する情報、(8)校地・校舎等の施設・設備に関する情報、(9)大学評価に関する情報、(10)コンプライアンスに関する情報、(11)学則・諸規程等に関する情報、と定めている。

本規程に基づき、過不足のない情報公開に取り組む。

■改善計画

①担当部署および担当者と連携し、ウェブサイトでの過不足のない公開および更新に取り組む。

- ・ 教育情報について
- ・ 研究者情報について
- ・ オンラインシラバスについて
- ・ 自己点検・評価結果の公表について
- ・ 財務状況の公表について
- ・ 外国語による情報公表について

②2022年度の事業報告書において、2021年度の認証評価で大学基準協会から指摘された改善事項への対応について記載する。

<最終報告までの達成目標>

日本私立大学連盟ガバナンス・コードや私立学校法関連の改正法案の動向を注視しつつ、学外における公開すべき必要情報を整理および検討し、過不足なくわかりやすい情報公開を通じて社会的信用を高めることに努める。

【2】2022年度の取組みの点検・評価と2023年度以降の方針

【2022年度の取組みの点検】

- ①本年度に掲げた計画について、担当部署および担当者と連携し、本年度8月末までに公開および更新した。下記ウェブサイトにて、「教育研究上の目的と基本組織」「教職員に関する情報」「学生に関する情報」「修学に関する情報」「教育研究環境」「学生の修学、海外留学・国際交流、進路選択、心身の健康等に係る支援」「社会連携・社会貢献」「大学運営に関わる情報」の項目別に公開している。

<https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/public/>

また、下記の項目についてもウェブサイトを更新した。

- ・自己点検・評価結果の公表について

<https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/ad/>

- ・財務状況の公表について

<https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/finance/>

- ・外国語による情報公表について

<https://www.soka.ac.jp/en/about/organization/>

- ② 2023年6月公開の事業報告書に、2021年度認証評価で大学基準協会から指摘された改善事項について記載する準備を進めている。

③その他

- 日本私立大学連盟ガバナンス・コードの遵守状況について、私大連方針に則り学内の点検・確認作業を実施した。その内容について、私大連に報告するとともに、本学ウェブサイトで報告している。
- 「教育情報の公開」「財務情報の公開」の文科省方針に則り、過不足のない情報公開に取り組んだ。

【今後の課題および2023年度以降の方針】

- 現在の各会議体での点検・評価の体制を継続する。また、本年10月1日の改正大学設置基準および2025年度改正私学法で情報公開に求められる必要情報を整理および検討し、過不足なくわかりやすい情報公開を通じて社会的信用を高めることに努める。
- ウェブサイト上でのアクセスの利便性を高めるため、情報公開に関するページのアクセス数や流入経路を分析し、デザインやレイアウトも含めユーザビリティの向上を図る。